

教育目標 豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていくこどもの育成

めざす学校の姿＝試行錯誤のある学校

- こどもが主役の学校
《失敗を恐れない子ども・教師集団》
- 感動のある学校
《わくわくする期待あふれる毎日》
- 到達目標がある学校
《前年を繰り返さない教育活動》

めざす教師の姿＝率先垂範する教師

- 子どもを愛する教師
《積極的な対話と豊かな子ども理解》
- 挑戦し続ける教師
《不断の研鑽による自己の向上》
- 心身ともに健康な教師
《自己管理と法令遵守の徹底》

めざす子どもの姿と1学期の目標

おもいやりを持つ子

- 話し手を全員が見る授業や集会をつくる。
- 縦割り清掃が協力してきれいにできる。
- 相手を思いやる言葉を昨年より多く使うことができる。

共に考える子

- 全学年の授業で、理由をはっきり述べる発言ができる。
- 学級や全校で問題を話し合えることができる。
- 自らがよく考えて避難訓練を行うことができる。

進んで学び活動する子

- 「勉強がとてもわかる」子どもを6割以上にする。
- 委員会活動で具体的な目標を設定する。
- 「縦割り活動が楽しい」子どもが増える。

1学期の具体的な取り組み

- 「聞き方」ルールの徹底
- 縦割り清掃について話し合いの充実
- 帰りの会での友達のよさの伝え合いの設定

- 「話し方」ルールの徹底による対話のある授業の展開
- 学級会や集会の定例化
- 抜き打ち避難訓練や防災キャンプの実施

- 子どもが「わからない」と発言できる授業・学級づくり
- 意欲の持てる委員会活動の充実
- 縦割り班への支援と励まし

小中一貫校開設に向けた取り組みの推進

- 学習指導での小中の円滑な接続のための研究推進
- 学校行事やふるさと・キャリア教育プログラムの具体的な検討
- 小中の児童生徒や職員の積極的な交流
- 保護者や地域への積極的な情報発信と収集